

平塚市障がい者自立支援協議会

部会・分科会 令和7年度活動報告及び令和8年度活動予定

目次

1	企画営部会__計画相談支援分科会	2
2	地域生活支援部会__身障分科会	3
3	地域生活支援部会__知的分科会	4
4	地域生活支援部会__グループホーム連絡会	5
5	地域生活支援部会__精神分科会	6
6	就労支援部会	7
7	こども部会__学齢児分科会	8
8	こども部会 未就学児分科会	9
9	こども部会__医療的ケア児支援分科会	10
10	こども部会__移送分科会報告書	11

1 企画営部会__計画相談支援分科会

1 活動目的

- (1) 計画相談支援連絡会の運営
- (2) 相談支援専門員の資質向上に向けた研修企画

2 令和7年度活動報告

(1) 開催状況

ア 開催日 ※別紙【3-1】「令和7年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 実施内容（研修や成果など）

(ア)GSV研修を3回主催し、各回30～40人の参加があった。事例提供者には、伴走と丁寧な調整を心がけたことで、経験が積めたと感じてもらうことができた。また、参加者には、普段接することが少ない障がい種別の事例に触れてもらう機会となり、障がいの理解、支援の視点への気づきを得てもらうことができ、相談支援の受け皿を広げることに繋がった。

(イ)6月に対人援助を行う上で重要な「アセスメント研修」を主催した。43人の参加があった。アセスメントからプランニングまでを的確に言語化し、他者からの評価を受け、普段のケース会議等でのスムーズな運営について学んだ。支援をする上で必要な共有することの大切さや共有するための伝え方の重要性に改めて気づいてもらった。

(2) 出てきた課題等

ア 研修の参加者は増えているが、受動的な参加が多い。相談支援専門員同士が普段から相談や地域資源の共有などができるためには、横のつながりの強化が必要だが、そのきっかけとなる相談支援連絡会に能動的に参画してもらえるよう、運営方法に工夫が必要。

イ 「平場で他事業所の相談支援専門員と話せる場」が欲しいとの声がある。

3 令和8年度活動予定

(1) 開催予定

ア 開催日 ※別紙【3-2】「令和8年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 取組・検討内容

(ア)GSV研修を年3回主催する。

(イ)相談支援専門員のニーズに応え、フリートークを主たる内容とした連絡会を主催する。

(ウ)主任相談支援専門員が積極的に支援の中心を担ってもらえるよう、連絡会運営の参画を働きかける。

(エ)本市における相談支援体制の強化に向けた研修会を主催し、計画相談支援事業所が市と共に体制づくりをしていけるよう、計画相談支援事業所の運営や体制の在り方について学ぶ。

2 地域生活支援部会__身障分科会

1 活動目的

- (1) 地域生活における課題の発見と解決
- (2) 障がいの理解を深める「地域啓発活動」の推進
- (3) 事業所間のネットワーク構築と情報共有

2 令和7年度活動報告

(1) 開催状況

ア 開催日 ※別紙【3-1】「令和7年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 実施内容（研修や成果など）

(ア)『居宅介護事業所の移動支援に関する聴き取り調査』

市内の居宅介護事業所31事業所を対象に、電話による聴き取り調査を行った。調査の結果から、他市の状況も把握する必要があると考え、藤沢市、茅ヶ崎市、小田原市、伊勢原市、秦野市の事業所へもアプローチし、移動支援の実情の把握に努めた。

(イ)啓発活動「見て、聴いて、触れて、理解を深める研修会」

視覚障がいのある方への理解を深め、誰もが安心して暮らせる地域づくりをテーマに、視覚に障がいのある方のお話を聞き、安全な移動をサポートするための誘導方法を学ぶ研修を平塚点訳赤十字奉仕団の協力のもと開催した。

(ウ)第1回生活介護事業所情報交換会※グループホーム連絡会と合同開催

災害対策課を招いての大雨による水害を想定しての研修会を開催した。グループホーム、生活介護事業所が日頃から準備しておかなければならないことや実際の初動対応などを災害対策課による講話とグループディスカッションで学んだ。

(2) 出てきた課題等

- ア 令和5年度から地域課題として移動支援事業等の検討に取り組んできたが、分科会の構成員にサービス提供事業所が入っていなかった。そのため、分科会での検討をより充実させることを目的として、居宅介護業所に参加を依頼する予定。今後も分科会では地域課題に応じた関係機関に参加していただけるように、定期的にメンバーを見直していく。
- イ 啓発活動は、これまで視覚障がい者の方の講演会を地域の民生委員などを中心に実施してきたが、一般市民への啓発が不十分であった。そのため、今後は、障がいの理解や支援について関心を高めることを目的として、地域のイベント等を活用して啓発を行う。

3 令和8年度活動予定

(1) 開催予定

ア 開催日 ※別紙【3-2】「令和8年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 取組・検討内容

(ア)移動支援の課題解決に向けたヒアリング

(イ)地域のイベントを通じた啓発活動

(ウ)「生活介護情報交換会 ミニカンファレンス（仮称）」の開催

3 地域生活支援部会__知的分科会

1 活動目的

地域課題を抽出し、支援の質の向上や、ライフステージに応じた支援体制の構築、権利擁護の普及・啓発を行い、知的障がいのある方が、地域で自分らしく安心して暮らしていくことを目指す。

2 令和7年度活動報告

(1) 開催状況

ア 開催日 ※別紙【3-1】「令和7年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 実施内容（研修や成果など）

『意思決定支援』をテーマに研修を企画した。意思決定支援の県のアドバイザーを講師に招き、講演会を10月9日に実施した。その後、意思決定支援の県のモデル事業となった2施設を招き、実践報告会を11月4日に実施した。総勢110名にご参加いただいた。テーマを統一して連続性を意識したステップアップ型の研修を行うことにより、資質向上および地域における意思決定支援の定着を目指した。講演では意思決定支援の根本的な知識や重要性を学び、実践報告ではその知識をもとに現場での実際の取り組みを学ぶことができた。

(2) 出てきた課題等

ア 重度の方への対応に課題がある。意思決定支援はやるべきことと理解しているが、実際どのような取り組みをしているのか、やるべきことが決まっている勤務時間の中で、どう工夫して取り組んでいるのかなど、実際の取り組みを聴ける場を設けることができれば良いと意見がでている。

イ 管理者やサービス管理責任者と、若手の職員とで意識のギャップを感じるため、若手職員向けの研修の場も今後は検討していきたい。

ウ 重度のケース、児童のケースなど、様々なケースに対する事例報告の場を作り、意思決定支援の取り組みの底上げを行う必要があると考えている。その事例報告についてまとめた事例集を作ること、意思決定支援の取り組みの強化につなげていきたい。

3 令和8年度活動予定

(1) 開催状況

ア 開催日 ※別紙【3-2】「令和8年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 取組・検討内容

(ア)障がい特性と現場対応の学び（グループホーム連絡会共催）

(イ)リーダー（中堅職員）研修

(ウ)意思決定支援研修

4 地域生活支援部会__グループホーム連絡会

1 活動目的

地域のネットワークを構築し、各グループホームの管理者や支援員が、情報提供・相互の意見交換などを通じて課題意識を持ち、資質向上を目指す。

2 令和7年度活動報告

(1) 開催状況

ア 開催日 ※別紙【3-1】「令和7年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 実施内容（研修や成果など）

- (ア) 『グループ別意見交換会』を6月18日に実施。36名参加。それぞれのグループホームでの困りごとや課題を共有することができた。
- (イ) 『地域連携推進会議実践報告』を11月11日に実施。35名参加。3事業所を招き、地域連携推進会議の実践報告をしていただいた。未実施の事業所が多数いるなかでの開催となり、今後の取り組みに向けて貴重な話を聴ける場となった。実践報告後のグループワークでは各事業所での実施状況や方法など意見交換することができた。
- (ウ) 『災害対策研修』を2月27日に実施。29名参加。平塚市災害対策課を招き、施設における災害への備えについて学ぶことができた。グループワークでは地域ごとに同じグループになるようにして、各事業所の備蓄状況等を確認するとともに、周辺地域同士で被災時の互助に繋がるよう意識して取り組めた。

(2) 出てきた課題等

- ア 令和7年度から義務化された地域連携推進会議については、参加者から勉強できる場がほしいと多数意見が出ていた。現状、地域連携推進会議は手探りの状態で各事業所にて実施している。振り返りの場をつくることで、それぞれがどう発展させていくかを考え、同時に地域の中での関係づくりとして、実際に行ってみて感じた気付きを、次への取組の素材として活かしていきたい。
- イ 防災研修では、各事業所での防災意識はあるものの、実際に推奨される備蓄量を備えるには、保管場所や金銭的な負担が課題となっていることがわかった。今後については、地域ごとに話し合う時間をつくることで、周辺地域同士で被災時の互助に繋がる関係性づくりを強化していきたい。

3 令和8年度活動予定

(1) 開催予定

ア 開催日 ※別紙【3-2】「令和8年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 取組・検討内容

- (ア) 地域連携推進会議について
- (イ) 障がい特性と現場対応の学び（知的分科会共催）
- (ウ) 虐待防止研修
- (エ) グループホーム連絡会の参加率が低い事業所へのアプローチ方法の検討

5 地域生活支援部会_精神分科会

1 活動目的

関係諸機関のネットワークづくりや「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進（以下、「にも包括構築推進」という）を通じて、精神障がいのある方が地域で安心して暮らせるよう、関係機関が円滑に連携・協働できる地域を作ることを目指す。

2 令和7年度活動報告

令和7年度は、特に8050問題を内包するご家庭の支援を円滑に行うことのできる地域づくりのために、以下の活動を行った。

(1) 開催状況

ア 開催日 ※別紙【3-1】「令和7年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 実施内容（研修や成果など）

- (ア)精神分科会定例会：にも包括構築推進の協議を含めて、地域課題の抽出及び課題検討ワーキングで行う内容の企画などを行った。
- (イ)課題検討ワーキング：主に8050問題の予防や早期対応の実現を目指し、『精神保健福祉支援者のための連携ガイド～平塚こころのNavi～』を作成した。精神保健福祉相談の関連機関のより良い連携を目指し、ひきこもりや精神障がい者の支援に関する相談窓口などの情報提供を主としたガイドとして、地域で活用されることを目指す。
- (ウ)アウトリーチ研修会：「平塚こころNavi」の完成後に、その周知や事例検討を通じて、8050問題を内包するご家庭への支援のために、主に高齢者支援機関と精神保健福祉関連機関との連携強化を目指した研修会を行った。

(2) 出てきた課題等

- ア 定例会においては、地域づくり型保健活動の手法を用いて平塚市におけるにも包括構築推進における諸課題を抽出している。その際には、教育機関や医療機関との連携の在り方、居住確保の問題など多くの課題が挙げられているが、優先順位をつけて取り組む必要がある。
- イ 課題検討ワーキングやアウトリーチ研修では、“客観的には支援の必要性を感じるが、その時点でご本人・ご家族が支援の必要性を感じていない方についての継続した関わり方（見守り方）の難しさがある”といったご意見があった。そうした活動のためのシステムづくりやマンパワーの確保が必要。

3 令和8年度活動予定

(1) 開催予定

ア 開催日 ※別紙【3-2】「令和8年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 取組・検討内容

(ア)精神分科会定例会：課題検討ワーキングで取り組む検討課題の抽出・意見具申など

(イ)課題検討ワーキング

令和8年度から、精神障がいのある方の住宅確保の支援に関する検討を開始予定。障がいを理由に住まい探しを断られることなく、地域の一員として安心して暮らし続けられるまちづくりを目指す。令和8年度は、このことに関する先進地域の取り組みを学ぶなどして、取組の方向性を定めつつ関係諸機関で共有する。

(ウ)アウトリーチ研修会

8050問題のある家庭の支援のためのネットワークづくりを目的に、高齢者支援機関が行う研修会等に精神分科会員も参加し、関係諸機関の役割や支援に関する考え方などを共有する。今年度は3回の開催予定。

6 就労支援部会

1 活動目的

- (1) 地域の障がい者雇用促進を目的とした関係機関のネットワーク作り
- (2) 企業への障がい者雇用情報の普及啓発
- (3) 障がい者ご本人への就労に対するイメージづくり、意欲向上

2 令和7年度活動報告

(1) 開催状況

ア 開催日 ※別紙【3-1】「令和7年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 実施内容（研修や成果など）

(ア) 令和7年10月からスタートした就労選択支援について、5月の研修会で香川県における就労アセスメントの先進的取組事例を学び、関係する事業所がアセスメント方法や様々な社会資源（事業所など）を共有できていることが地域づくりとして必要であることを学んだ。その後、就労選択支援の実施に向け、市内の実施情報の共有や課題整理をした。12月には神奈川県西地区の「障がい者就業・生活支援センターぼけっと」の所長と就労選択支援事業所「合力の郷」の理事長を講師に招き、地域づくりの課題である統一したアセスメント方法の取組について学んだ。

(イ) 10月に伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会就労支援部会と雇用促進セミナーを共催。実際に障がいのある方を雇用している企業の担当者に企業、当事者向けに雇用事例を話していただいた。これから障がい者雇用に取り組む企業にとっては参考になる内容であり、これから就職を目指す障がいのある方にとっては働くことのイメージ作りにつながるものとなった。

(2) 出てきた課題等

ア 平塚市内では就労選択支援事業所の数が少なく、十分なサービス提供が難しいため、就労移行支援事業所を始め、就労に関係する機関が、就労アセスメントについて共通認識をもつ必要がある。

イ 法定雇用率の引き上げにより、大企業では障がい者雇用は進んでいるが、地域の中小企業では障がい者を知らない、担ってもらう仕事がないなど、どう雇用していいかわからないことが要因で、取り組みが進んでいない。

3 令和8年度活動予定

(1) 開催予定

ア 開催日 ※別紙【3-2】「令和8年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 取組・検討内容

(ア) 就労選択支援事業所が実績を積みながら見えてくる課題をワーキンググループで見つけていく。

(イ) 7月就労移行支援事業所合同説明会を実施する。10事業所がブースを出す。支援者、利用者問わず自由に出入りができ、個別相談や事業内容を聞くことができる。

(ウ) 12月中小企業向け障がい者の雇用促進を図るためセミナーを開催する。

7 こども部会__学齢児分科会

1 活動目的

分科会を通して、支援を行う中で感じる難しさや不安を共有し、ひとりで抱え込まない体制づくり、顔の見える関係づくりを目的とする。

2 令和7年度活動報告

(1) 開催状況

ア 開催日 ※別紙【3-1】「令和7年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 実施内容（研修や成果など）

(ア)虐待防止研修（未就学児分科会と合同）

7月3日（木）9時半～12時 講師：CFJ山田不二子理事長 参加人数：90人

(イ)グループスーパービジョン研修

11月13日（木）9時半～11時半 事例提供：はとのもり 参加人数：69人

(2) 出てきた課題等

ア 新規事業所開設が相次ぐ中での事業所の質の確保、向上への取り組みについて

イ 利用者が急増する中での資源の確保について

3 令和8年度活動予定

(1) 開催予定

ア 開催日 ※別紙【3-2】「令和8年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 取組・検討内容

(ア)分科会（未就学児分科会と合同）4月30日（木）

支給基準の改定についての説明

グループワーク（防災について・保護者対応について）

(イ)虐待防止研修 11月25日（水）

講師：志賀利一氏

8 こども部会 未就学児分科会

1 活動目的

分科会を通して、事業所の情報交換を行うことで、支援を行う中で感じる難しさや不安を共有し、ひとりで抱え込まない体制づくり、顔の見える関係づくりを目的とする。

2 令和7年度活動報告

(1) 開催状況

ア 開催日 ※別紙【3-1】「令和7年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 実施内容（研修や成果など）

(ア) 虐待防止研修（学齢児分科会と合同）

7月3日（木）9時半～12時 講師：CFJ山田不二子理事長 参加人数：90人

(イ) 分科会

7月18日（金） 情報交換会

(ウ) 分科会

11月27日（木）基準見直しによる意見交換

(2) 出てきた課題等

ア 療育目的に限らず、家庭事情等による福祉サービス希望の増加

2 令和8年度活動予定

(1) 開催予定

ア 開催日 ※別紙【3-2】「令和8年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 取組・検討内容

(ア) 分科会（学齢児分科会と合同）4月30日（木）

支給基準の改定についての説明

グループワーク（防災について・保護者対応について）

9 こども部会_医療的ケア児支援分科会

1 活動目的

- (1) 医療的ケア児の支援に関する保健、医療、福祉、教育等の連携の一層の推進
- (2) ライフステージに応じた支援体制を整備し、地域生活の充実及び介護者の負担軽減を図る

2 令和7年度活動報告

(1) 開催状況

ア 開催日 ※別紙【3-1】「令和7年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 実施内容（研修や成果など）

(ア) 5月26日（月）第1回座談会（ひなたぼっこ）

かながわ県医療的ケア児者家族会 つなぐの小山代表をお招きし、当事者家族と行政等支援者のコミュニケーションポイントについてお話いただいた。フリートークで実際に参加者から出た困りごとに対して、同じ目線で取組の進め方等をアドバイスいただいた。

(イ) 6月26日（木）作業部会

保育所・学童・学校への医療的ケア児の受け入れ状況や課題の共有を行った。

(ウ) 7月15日（火）第1回分科会

医療的ケア児支援の取り組み状況報告（在宅レスパイト・ケア付き通学支援等）

かながわ医療的ケア児支援センター湘南西部ランチより、かながわ移行期医療支援センター等について

(エ) 1月30日（金）第2回分科会

災害対策課より平塚市の災害対策の取り組みについて

保健福祉事務所より保健福祉事務所の業務について

小児在宅訪問診療まえむの森クリニック平塚がR8.4月から開設するにあたり、分科会に初参加いただき、御説明いただいた。

(オ) 2月26日（木）第2回座談会（ひなたぼっこ）

保健福祉事務所にいの会と共催。成人への移行期に対しての不安の声があったため、成人となった医ケアの保護者をお招きし、経験談をお話いただいた。その後フリートークを実施。退院後間もない保護者も参加することができ、他の保護者と繋がることができた。

(カ) 年6回 医療的ケア児等コーディネーターと連絡会を開催

コーディネーターの活動・事業実施状況報告、共有を行っている。

(2) 出てきた課題等

ア 医療的ケア児等台帳登録の仕方や多機関との共有、活用の仕方について

イ 成人移行期問題

ウ 通学支援の活用について

3 令和8年度活動予定・検討内容について

(1) 開催予定

ア 開催日 ※別紙【3-2】「令和8年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 検討内容

(ア) 5月29日（金）第1回座談会（ひなたぼっこ）

成人となった医ケアの保護者をお招きし、入浴方法についてお話いただいた。その後フリートークを実施。

10 こども部会_移送分科会報告書

1 活動目的

移動が困難な障がい児等を対象に通学等日常生活の行動範囲を拡大することにより障害児者等の福祉の増進を図る。

2 令和7年度活動報告について

(1) 開催状況

ア 開催日 ※別紙【3-1】「令和7年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照

イ 実施内容（研修や成果など）

（ア）無

(2) 出てきた課題等

利用したい方の御相談はあったが、時間の問題等があり、協議会開催には至らなかった。令和7年度は車両も新しくなり、幅広い対象者が利用できるようになったが、ボランティアの確保が難しい課題もある。

3 令和8年度活動予定

(1) 開催予定

ア 開催日 ※別紙【3-2】「令和8年度平塚市障がい者自立支援協議会スケジュール」参照
必要に応じて

イ 取組・検討内容

ふくふく号の利用の可否だけでなく、通学等行動範囲を拡大するための幅広い検討が必要であり、今後の分科会のありかたの検討が必要。